

# エネルギー講演会開催

## いま、何を議論すべきなのか？-エネルギー政策と温暖化政策の再検討-

8月22日、エネルギー講演会（村主催）が東通中学校体育館において開催され、一般住民や東通中学校の生徒、村内事業者など、約600人が参加しました。

エネルギー事情に精通されている澤昭裕氏（21世紀政策研究所・研究主幹およびNPO法人国際環境経済研究所・所長）を講師にお招きし、「いま、何を議論すべきなのか？-エネルギー政策と温暖化政策の再検討」をテーマに、我が国のエネルギー政策の現状と今後の方向性について、わかりやすく講演して頂きました。

開会にあたり、越善靖夫村長からは、当村に立地する東通原子力発電所の現状にふれながら、「今後もより一層の安全性の確保を大前提として、原子力発電所との共生による村づくりを進めていく」との挨拶がありました。

澤氏からは、エネルギーの安定供給や燃料費の経済性、発電中にほとんど二酸化炭素を排出しない環境性から、原子力発電の優位性について説明がありました。



越善村長の挨拶

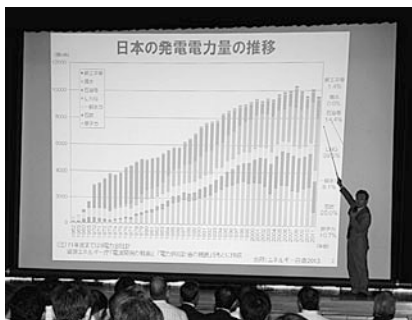
そして、原子力を維持していくために必要となる条件として、政治（国・自治体）の意思表示、リスクと費用の官民分担の制度化、原子力に係る技術を継続的・積極的に導入することを挙げ、また、原子力規制委員会に対しては、「現状の規制委員会は原発を止めるために取り締まりを行っている。規制委員会は本来、原発を安全に活用するためにある」と述べられました。

質疑応答では、参加者から様々な質問がなされ、エネルギー政策や東通原子力発電所の再稼働に係る参加者の関心の高さがうかがえました。

質疑応答では、参加者から様々な質問がなされ、エネルギー政策や東通原子力発電所の再稼働に係る参加者の関心の高さがうかがえました。



澤昭裕氏の講演



講演会の様子



東通中学校全生徒も参加

### 東通中学校吹奏楽部の 更なる活躍を願って

9月9日、東通ライオンズクラブ様（三國智紘会長）より、東通中学校への楽器購入費として、50万円のご寄附をいただきました。

今回のご寄附は、同クラブが今年で結成25周年を迎えられた記念事業として実施されたものです。

三國會長は「東北大会や全国大会に出場した実績がある東通中学校吹奏楽部が、今後ますます活躍できるよう応援したい」とお話されていました。ありがとうございました。



越善村長に目録を贈呈する三國會長（左）